

生中通藁

平成28年12月2日(金)

生駒市立生駒中学校 文責 校長 藤原康成

「口蓋垂」自分の知らないところで人は支えられ、生かされています。

今年も残すところ、あと1ヶ月となりました。一年の締めくくりのこの時期に一度、一年間を振り返ってみましょう。いろんなことがありました。一つ一つ大切にしていきたいことばかりでした。命も自然も・・・そして、家族もなかまも。

この『藁』(しん)という文字には、「命の芽吹き、自然の草木や葉が盛んにしげるさま。草木(様々な人が集まる学校)多く集まっているさま。」の意味が込められています。

深い緑、木々の息吹を吸収し、北風に負けない心と体を育てる時期(冬)でもあります。春を待つ人としての熟成期間でもあります。こしぼねをしっかりと伸ばし、大きくさわやかなあいさつから、一日スタートしてみましょ。

寒くて布団から出にくいとき、「よし」一声自分に掛け声をかけて、布団から飛び出してみましょ。眠い目をこすりながら洗面所へ直行。冷たい水で顔をゴシゴシ、5～6回洗えばちゃんと目は覚めてくれます。しっかり朝ごはんを食べれば、朝の準備は万端です。



ここを緩めなければ、きっといい一日が約束されます。朝のスタートを本気で大切に

にしましょう。そうすると、夜になるといい時間に、眠くなってきます。寝る時間が決まってくる。十分な睡眠時間が確保できれば、体が安定し、やる気や意欲が出てきます。作業効率もグンと上がってきます。睡眠時間はまさに健康のバロメーターなのです。受験を間近に控えている3年生諸君。適度な睡眠を心がけ健康には十分気をつけて、人生の第一の壁にしっかりぶつかり、乗り越えてください。みんな応援しています。

11月の通針で「バカにはなるまい」という本のお話を少しさせてもらいました。その本の出逢いから、10年程経って、一つ講演会で内田美智子さんという福岡で助産婦をされている方とお逢いしました。お話の内容、音楽、映像に引き込まれ、約90分間立ち見していることも忘れ、周りの方たちにもお構いなしに、後半は涙が止まらずそれも声を出して泣いてしまいました。自分の中にある「命に対する思い。今までの人生、出逢い、本当に大切なもの」全てを掘り起こされたような衝撃的な展開で、講演後は今まで感じたことのない爽快さに心が浄化されました。感動とかを超えたものに出逢えたのです。

この日から私の夢は、自分の学校の大切な人たちと、この思いを共有したいと願うようになりました。私の教師として、一人の人間としての三本柱の支える一本になっています。この夢が実現することを願ってこれからも精一杯頑張っていきたいと思えます。

◇2年生は、11月10日(木) 11日(金)

職場体験を通して、今まで気づかなかった多くの体験をしたと思います。事業所の方々の温かい対応ご指導に心より感謝申し上げます。体験後は一人ひとりが各事業所のみなさんに感謝の想いを込めてお手紙を届けています。



また、11月16日(水)から三日間、家庭科の授業の一環として、白百合幼稚園、園児とのふれあい体験学習を行いました。

一緒に遊んだり、視線を低くして声をかける姿も印象的でした。優しくいたわるような心をいつまでも忘れないで欲しいものです。



◇1年生は11月11日(金)「しごと」の意義を考え勤労観を養うことを目的に、東大阪市(10事業所)を中心とするモノづくりの体験学習を実施しました。新しい発見、多くの人との出逢いを通して、自らの将来の進路を考える貴重な体験だったと思います。各事業所のみなさん本当にありがとうございました。一つ一つの仕事には、その人の努力や願いがこめられた、尊い仕事ばかりです。感謝。

◇三年生進路懇談 25日(金) 28日(月)

進路に向けて、本格的に動き出しました。今まであまり実感していなかった生徒のみなさんにも、今まで経験したことのなかった「不安や緊張、焦り」のようなものを感じている人も少なくないでしょう。それは、進路について、本気になってきた証です。その気持ちも大切にしながら、目標を持って今しか出来ないことを最優先して、乗り越えていきましょう。

毎日が相談日です。一人ではどうにも解決しないことや戸惑うこともあるでしょう。思いを共有するなかまや家族、先生方にいっぱい相談して下さい。願いが叶うその日までみんな一緒に頑張りましょう。

.....こうした人間でありたい.....

【小さな親切より、「おばあちゃんのように」】A君は小学校1年生です。私が介護員として訪れるとおばあちゃんの手をとり、カレンダーの裏を使って字を教えているのです。おばあちゃんの名前です。「点は右につけるんだよ。右はご飯を食べるときにお箸を持つほうだよ。そう、そう、上手上手。」以前、私がおじいちゃんの介護員として訪問したときは、入学前のA君におばあちゃんが字を教えていました。それと同じように、今度はA君がおばあちゃんに教えているのです。一年前、おじいちゃんが亡くなり、おばあちゃんも倒れて、二ヶ月の入院を経て退院したけれど、痴呆がはじまり、一日中ベットに居ることが多くなりました。そんなおばあちゃんを以前の元気なおばあちゃんに戻そうと歩行訓練をお手伝いするA君は一生懸命です。幼くとも祖母からもらった愛情と親切をしっかりと受け止めているのです。そしてこれからもA君の中で、受け継がれていくのです。私は感動し、「頑張れ」と心の中で応援しています。 以上、感想を一言。